

1. ゆりかもめ安全報告書発行にあたって

いつも「ゆりかもめ」をご利用いただき誠に有り難うございます。
ゆりかもめは、都心と臨海副都心を結ぶ公共交通機関として、開業以来、4億人を超えるお客様にご利用いただいております。当社では、こうした多くの皆様に愛され、親しまれる鉄道を目指し、安全・確実・快適な運行に努めてまいりました。昨年度は、安全を最優先する組織作りを目指し、安全推進室を設置するとともに、各部門で安全重点施策を定め、輸送の安全確保に努めました。また、当社で初めてとなる運輸安全マネジメント内部監査を実施するなど、輸送の安全に対する意識の向上に全社員で取り組みました。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全を確保するための平成19年度の取り組みや安全の実態を取りまとめ、皆様に広くご理解いただくために作成いたしました。今後、安全管理態勢の更なる充実を図るため、この報告書に対する皆様からのご意見、ご助言をいただければ幸いです。

株式会社ゆりかもめ 代表取締役社長 矢口幸一

2. 安全方針

当社では、「安全方針」を次のように掲げ、社員全員に周知・徹底しています。

ゆりかもめ安全方針

私たちは、お客様の安全・安心を何よりも大切にし、災害に強く、事故のない新交通ゆりかもめをめざします。

このため

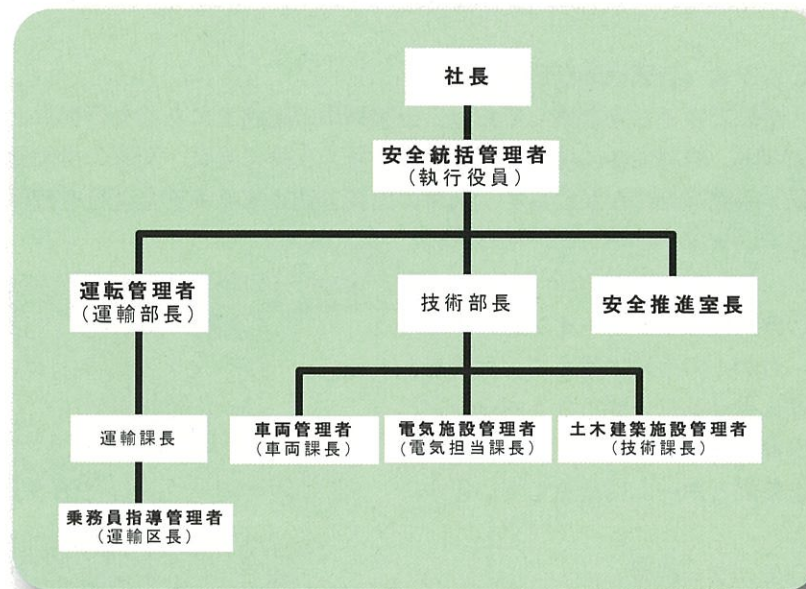
- 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
- 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- 常に安全に関する問題意識を持ち、必要な改善に取り組みます。



3. 当社の安全管理態勢

(1) 安全管理組織図

当社では、社長を筆頭とする安全管理組織を構築しています。各責任者の責務を明確にし、安全確保に取り組んでまいります。



(2) 役職と責務

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全確保に関する業務を統括する。
安全推進室長	安全統括管理者の指揮の下、事故防止に関する事項を統括する。
運輸管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運輸管理者の指揮の下、運輸指導（助役を含む）資質保持に関する事項を管理する。
土木建築施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、土木・建築施設に関する事項を統括する。
電気施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、電気施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

(3) 内部監査の実施

安全管理規程に基づき、輸送の安全管理態勢が適切に運営されているか、運輸安全マネジメントの内部監査を昨年度初めて実施しました。確実にPDCA（計画・実施・評価・改善）のサイクルを機能させ、安全の強化に努めます。



4. 平成19年度事故・輸送障害等の概要

(1) 運転事故

運転事故の発生はありませんでした。

(2) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

輸送障害の発生は、平成20年2月3日の降雪により1件ありました。安全を確保するため、全列車に係員を乗務させ、間引き運転を実施しました。

(3) インシデント（事故の兆候）

事故の兆候であるインシデントはありませんでした。

(4) その他

平成19年5月25日、豊洲駅にて転てつ器転換不良が発生しました。ご利用のお客様には、ご迷惑をおかけしました。

5. 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 安全重点施策

平成20年度の安全重点施策を次のとおり定めて取り組んでいます。

区分	項目	平成20年度目標
安全に関する研修の充実	安全管理規程周知のための研修の実施	新入社員を含め全社員に研修を実施
安全のレベルアップ	動力車操縦者の養成（3ヶ年計画3年目）	養成訓練の充実（今年度までに社員35名免許取得）
走行路の保全	案内軌条継目装置の改良型への交換（6ヶ年計画5年目）	200カ所
保安設備の機能維持	信号誘導線の更新（伝送ループ線の張り替え）	テレコムセンター～青海駅間上下線
	駅・ホームモニター装置の更新	10駅
安全・安定輸送の確保	車両の保安・制御装置の更新（5ヶ年計画1年目）	2編成

平成19年度の安全重点施策は次のとおり取り組みました。

項目	内容
安全推進室の設置	基本的な安全管理体制を確立しました。
非常時の運転取扱技術の向上	非常時に備え、新たに社員8名が免許取得しました。
走行路の保全	案内軌条継目装置の改良型へ200ヶ所交換しました。今年度も実施します。
自然災害への備え	風速計を1基増設し、4基となりました。

(2) ホイールハブ破断事故に係わる再発防止対策

一昨年4月に発生した列車脱線事故では、お客様や沿線の皆様に多大なご迷惑をおかけしました。

事故の原因については、「材質不良と当該ホイールハブの長期間の使用による摩擦に起因する金属疲労」とされています。

ゆりかもめでは再発防止のため、従来から行ってきた探傷検査に加え、ホイールハブの摩擦量管理を新たに実施しています。また、材質不良については、平成19年9月までに全車両のホイールハブを新品に交換しました。

(3) 教育訓練

社員及び請負業者等、安全運行に関係する全ての者に対して、安全管理規程についての研修を実施しました。今年度も引き続き安全意識の向上を図ります。



(4) 異常時訓練

平成19年度は、鉄道テロ事件を想定した避難誘導訓練を実施しました。ホイールハブ破断事故を風化させることなく、公共交通関係者として安全意識の更なる向上を図りました。今年度も異常時対応訓練を実施する予定です。



(5) 安全のための支出

平成19年度は、安全の維持・向上のため、営業収入の約15%に当たる総額13億円を駅の巡回警備や施設・車両の修繕費等に充てました。

ゆりかもめの概要

会社名	株式会社ゆりかもめ
区間	新橋～豊洲（東京都港区～東京都江東区）
営業キロ	14.7km
駅数	16駅
所要時間	31分（新橋～豊洲）
運転方式	コンピュータ制御による自動運転

6. ゆりかもめの安全を支える設備

ゆりかもめは、ATO（自動列車運転装置）による自動運転を行っており、ATC（自動列車制御装置）・ホームドア設備等により安全を確保しております。この他、列車無線装置、非常列車停止装置、インターホン、モニター装置等を備えております。

○ATC（自動列車制御装置）

全線でATCを装備しており、当該列車の進路上にある先行列車との間隔、線路条件に応じた速度制限信号を車両に与え、列車の自動運転・手動運転にかかわらず、列車の衝突を防止する等安全運行を確保しています。

○非常停止ボタン・インターホン

万が一の事態に備えて、列車を停止させることができるボタンと係員と通話の出来るインターホンを車内とホームに設置しています。



○モニター装置

各駅にモニター装置を設置し、ホーム・コンコース等の状況を中央指令所で確認しています。



7. お客様へのお願い

お客様が安全にご利用いただけるよう、かけ込み乗車や発車ベルが鳴ってから無理なご乗車はされないようお願いいたします。

今後とも安全運行にご協力をお願いいたします。

8. ご連絡先

本安全報告書や当社の安全への取り組みに対するご意見・ご感想をお寄せください。

総務部 総務課

Tel 03-3529-7777（代）

月～金 9:00～17:30（祝日・年末年始を除く）

Fax 03-3529-7770

ホームページ

<http://www.yurikamome.co.jp>

2008

ゆりかもめ安全報告書




ゆりかもめ

この安全報告書は、当社における輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態をまとめたものです。

（2008年9月発行）